

■ 結節軸における歩道リニューアル等に向けた社会実験の実施

【実施概要】

期間	令和5年10月30日から11月12日
場所	市道駅西第5号線（中村区椿町地内）
主催	名古屋駅西地区まちづくり推進会議 （エキニシタウン会議）ストリート検討部会 牧野学区区政協力委員会/名古屋駅太閤通口まちづくり協議会/ 名古屋駅西銀座通商店街振興組合/名古屋市
内容	市道駅西第5号線の北側歩道を約4m拡幅し、拡幅部内にぎわい創出に資する利活用を行った
目的	将来のエリアマネジメント実施に向けたにぎわい創出とその効果の検証及び、歩道拡幅に伴う交通への影響の検証のため

【エリアマップ】



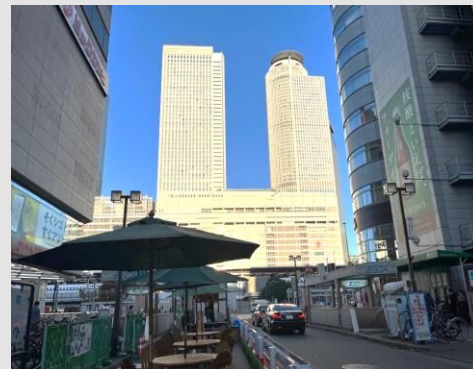
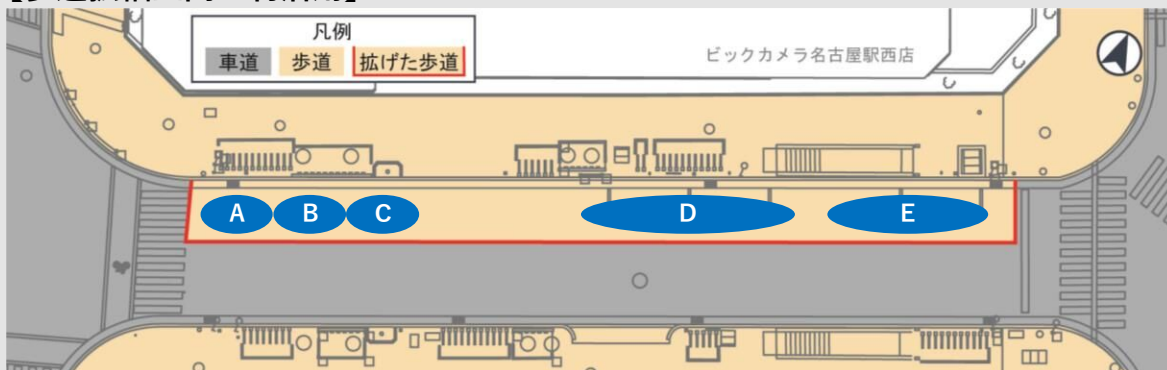
【歩道拡幅のための車線規制】



【社会実験のチラシ】



【歩道拡幅空間の利活用】



新幹線やツインタワーを眺めながら飲食や休憩ができました！



A：シェアサイクル

◀シェアサイクルを6台設置し、太閤秀吉功路をPRする広告を掲載



B：市の施策PR



◀駅西エリアのまちづくりについての紹介や、太閤秀吉功路に関連したイベントの周知



C：地元ブース

▲地元にゆかりのある物販を開催（土休日）



D：休憩施設

▲イス、テーブル、ベンチを設置



E：キッチンカー

▲キッチンカーが出店

検証結果	アンケート調査 (来訪者335人を対象)	「歩道を広げた空間を利用してどう感じたか？」という質問に対し、 約9割が「満足」「やや満足」と回答
	交通量調査 (交差点交通量、渋滞・滞留長等)	社会実験中と平常時で交通の状況に大きな差はみられず、 歩道拡幅による大きな影響はなかった

今回の結果を受けて、歩道リニューアルを実施していきます！